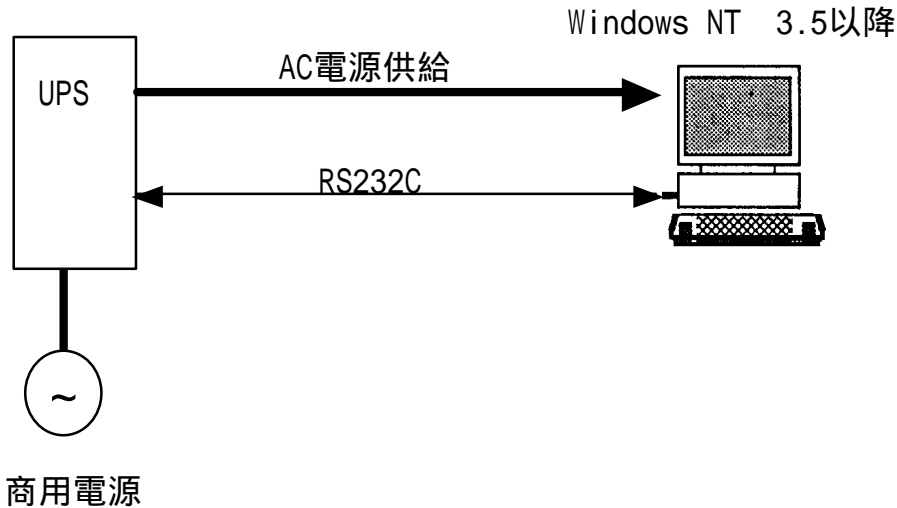


WindowsNT付属UPS監視ソフトの使用法

< 接続方法 >

UPS 本体入力部に商用電源を接続し、UPS 本体の出力部とコンピュータの電源コンセントを接続します。そして UPS の各シリーズに対応した RS232C ケーブルを UPS の接点信号が出力される SIGNAL ポートとコンピュータの RS232C ポート (UPS 監視ソフトで選択したポート) とを接続します。尚、UPS 背面のディップスイッチは全て OFF にしてください。



< NT 標準添付監視ソフトの設定 >

コントロールパネルの中のサービスから UPS サービスのスタートアップを自動にして開始ボタンを押してください。そしてコントロールパネルの UPS アイコンをダブルクリックして以下のような設定をしてください。バッテリーの予測寿命については UPS 本体付属マニュアルの停電保証時間を設定してください。

WindowsNT からのリモート無停電電源シャットダウン信号は、バッテリー容量低下 (ローバッテリー) 時に WindowsNT がシャットダウンしてから、約 2 分後に出力され約 30 秒後に UPS の電源がダウンします。またその後、商用電源が復電した場合には 10 秒後に UPS が再起動して、再び電源を供給します。

無停電電源(UPS)

無停電電源装置の組み込みポート(U): COM1: [v]

無停電電源の構成

無停電電源のインターフェイス電圧:

<input checked="" type="checkbox"/> 電源障害信号(P)	<input type="radio"/> 負	<input checked="" type="radio"/> 正
<input checked="" type="checkbox"/> バッテリー容量低下信号(L) (最低シャットダウン 2 分前に警告)	<input type="radio"/> 負	<input checked="" type="radio"/> 正
<input checked="" type="checkbox"/> リモート無停電電源シャットダウン(R)	<input type="radio"/> 負	<input checked="" type="radio"/> 正

実行コマンド ファイル(X) _____

ファイル名: _____

無停電電源の特性

バッテリーの予測寿命(E): 10 [v] 分

稼働 1 分ごとのバッテリー再充電時間(B): 40 [v] 分

UPS サービス

電源障害から警告メッセージまでの時間(I): 1 [v] 秒

警告メッセージの表示間隔(D): 10 [v] 秒